

愛媛大学 森林環境管理学リカレントプログラム

平成 31 年度受講生募集要項 第 1 次募集



愛媛大学農学部

1. リカレントプログラムの目的

現在、日本の人工林は、その利用に適した成熟期を迎えています。バイオマス発電等のバイオマスエネルギーへの利用や CLT 等、新しい分野への原料供給のために、B 材、C 材や低質材の需要は増えつつあります。しかしながら住宅用材として需要が見込まれる A 材は、長期に亘る住宅着工戸数の減少により、川上・川中・川下を問わず、業として低迷したままの状態が今後も続くことが予想されており、さらには、国民生活に様々な機能を発揮する森林の管理に大きなこと影響を及ぼすことが予想されます。

こうした中、森林環境管理学リカレントプログラムでは、その道の第一線で活躍される有識者と実務者を講師に迎えて実践的な教育を行い、林業、木材製造業、建築業の垣根を越え、森林管理に新たなビジネスチャンスを見出し、森林を未来に繋ぐ資源として地域の振興を推進する技術と能力を有した人材育成を行うことを目的とします。

また併せて、森林経営管理法（法律第 35 号 H30.6.1）に基づき、平成 31 年度から開始される「新たな森林管理システム」の指導・運営に携わる人材の育成についても目的とします。

2. プログラムの種類

(1) 総合プログラム

総合プログラムは、精密森林管理・森林環境管理・木材の高度品質の管理・高性能林業機械等に関する知識と技術等を取得した森林管理技術者を養成するプログラムです。基本的には 1 年のプログラムですが、仕事の事情で最長 3 年に渡る履修も可能です。下記の修了要件を満たせば履修証明書を発行します。

(2) 自由選択プログラム

自由選択プログラムは、カリキュラム（P.5 参照）の中から、受講者が興味を持った科目を 1 科目ずつ選択して履修できるプログラムです。

3. 修了要件と修了証明

(1) 修了要件

120 時間以上を受講し、さらに課題研究の提出・発表を行って、審査に合格することが修了要件です。

(2) 修了証明

修了者には、愛媛大学長名の「履修証明書」（厚生労働省が推進しているジョブ・カードに記載できるもの）を交付しますとともに、「森林経営管理エキスパート」の名称を授与します。

4. 受講料

(1) 総合プログラム

年間60,000円（2年目以降は、年間30,000円）

ただし、市町職員等で「新たな森林管理システム」に従事あるいは指導し、首長の推薦がある者は、受講料を免除します。

※ 「市町職員等」とは、市町職員の他、委託等によって新たな森林管理システムに携わることとなった者を含めるものとする。

(2) 自由選択プログラム

1単位につき6,000円

5. 募集人数

(1) 総合プログラム

15人程度

(2) 自由選択プログラム

15人程度（ただし、セミナー形式の講義の場合は上限なし）

6. 応募資格

高等学校卒業程度の学力を有し、森林・林業・木材製造業・建築業等にかかわる者、あるいは山村振興や地域づくり活動等を実践・経験している者、または今後実践しようと考えている者。

総合プログラムについては、市町職員等で「新たな森林管理システム」に従事あるいは指導する者。

7. 応募手続き

(1) 応募期間

平成31年4月19日（金）までに応募書類を郵送してください。平成31年4月19日（金）以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

なお、自由選択プログラムは、当該講義開始の1ヶ月前までに、応募書類を郵送してください。

(2) 応募書類

① 応募書類と送付方法

「受講申請書」及び「受講理由書」を以下のサイトからダウンロードし、必要事項を記入し、92円分の郵便切手を貼った返信用封筒を同封して郵送してください。送付用の封筒には、「森林環境管理学リカレントプログラム応募書類在中」と朱書きしてください。

② 応募書類の請求

ファイルのダウンロードができない場合は郵送いたしますので、「応募書類送付先」までご請求ください。その際は、送付用の封筒に「森林環境管理学リカレントプログラム応募書類請求」と朱書きし、長形3号の封筒に、出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、「92円分の郵便切手を貼った返信用封筒」を送付用の封筒に入れて郵送してください。

ダウンロードサイト URL : <http://morinokuni.agr.ehime-u.ac.jp>

書類等	摘要
受講申請書	所定の用紙に必要事項を記入したもの（手書きする際は、黒色のボールペンを使用してください。ダウンロードした Word ファイルへパソコンで打ち込んだものを印刷していただいてもかまいません。）
受講理由書	受講の動機や本プログラムを通して学習したい事柄を中心に 500 字程度で記入してください。また、学力、学業成績以外の能力、特技、これまでの活動の自己分析、社会活動の参加状況とその成果等、アピールできる点がありましたら、具体的に記述してください。 所定の用紙に応募者本人が記入したもの（手書きする際は、黒色のボールペンを使用してください。ダウンロードした Word ファイルへパソコンで打ち込んだものを印刷していただいてもかまいません。）
返信用封筒	長形3号の封筒に、出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、92円分の郵便切手を貼ったもの。

(3) 応募に関する注意事項

- ① 応募書類の記入にあたっては、各用紙の注意事項をよく読んで誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 応募後は書類の記載内容の変更は認めません。また書類は返却しません。
- ③ 書類の不備や内容に確認の必要がある場合は、電話またはEメール、郵便にて問い合わせをすることがあります。
- ④ 応募後に住所等の変更があった場合は、速やかに「応募書類送付先」へ連絡してください。

(4) 応募書類送付先・問い合わせ先

愛媛大学農学部学務チーム・森林環境管理学リカレントプログラム担当

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

電話：089-946-9086 FAX：089-941-4175

Eメール：morinokuni@agr.ehime-u.ac.jp

8. 受講の許可

応募期間終了後、受講の許可を判断し、結果を平成31年4月26日（金）に郵送で通知します。

応募資格を満たしていない場合、受講能力を著しく欠いていると判断した場合、受講をお断りすることがあります。

応募書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。

9. 受講手続き

受講の許可の通知の際に、受講手続き書類を送付します。平成31年5月17日（金）までに、受講料の払い込みと受講手続き書類を送付してください。書類の到着をもって受講手続き完了とします。

10. 個人情報の取り扱いについて

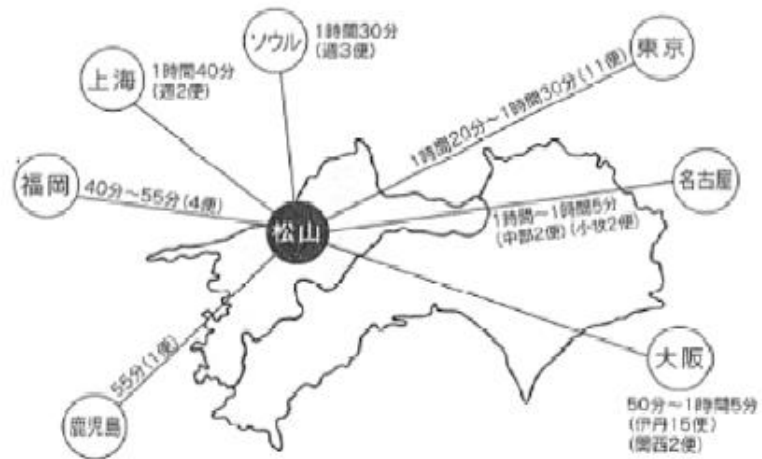
提出された応募書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、応募の事務処理、応募に関する連絡、書類審査、合格発表、合格された場合の受講手続関係書類の送付等に利用します。書類に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、応募者に連絡する場合があります。また、個人情報は、受講後の業務および調査・研究（書類審査方法の改善や応募動向の調査・分析等）を行う目的をもって管理します。他の目的での利用および本学部の関係教職員以外への提出は行いません。

11. カリキュラム

系列	授業科目名	単位	時間	講師
基礎系列	森林・林業概論(含実習)	1	24	豊田信行(元愛媛県職員)
	造林学概論	1	12	横井秀一(岐阜県立森林文化アカデミー教授)
	林業経営学概論	1	12	松本美香(高知大学准教授) 森信光夫(林業家)
	地域資源管理論	1	12	山田容三(愛媛大学教授)
系列1 精密森林管理	精密森林管理論	1	12	竹島喜芳(中部大学准教授)
	森林計測技術論	1	12	竹島喜芳(中部大学准教授) 都築勇人(愛媛大学准教授)
	森林広域計測	1	12	都築勇人(愛媛大学准教授)
	林業GISの初歩と実例	1	12	豊田信行(元愛媛県職員)
系列2 森林環境	森林生態系論	1	12	嶋村鉄也・鍋嶋絵里(愛媛大学准教授)
	野生動物被害防止論	1	12	高柳 敦(京都大学准教授)
	森林認証概論	1	12	速水 亨(林業家・FSCジャパン副代表) 桂 徹(三菱製紙・FSCジャパン理事)
	山地災害防止論	1	12	四国森林管理局職員
系列3 森林作業	林業機械論	1	12	鈴木保志(高知大学准教授)
	路網設計論(含実習)	2	42	酒井秀夫(元東京大学教授) 愛媛県研修課職員
	森林作業管理論	1	12	戸田正和(元愛媛県職員) 山田容三(愛媛大学教授)
	労働安全衛生管理論	1	12	山田容三(愛媛大学教授) 戸田正和(元愛媛県職員)
	林業機械の操作とメンテナンス	1	12	コマツ社員 日野敏明(四国建設機械販売株式会社)
系列4 森林管理組織	森林施業プランナー論	1	12	牧野耕輔(鹿児島大学特任講師)
	林業マネジメント論	1	12	長谷川香織(株式会社住友林業)
	森林産業育成論	1	12	本藤幹雄(久万高原町地域林政アドバイザー)
	農山村地域論	1	12	笠松浩樹(愛媛大学特任講師)
	森林関係行政論	1	12	愛媛県林業政策課職員
系列5	木材利用論	1	12	林 和男(愛媛大学教授)
	木材工学論(含実習)	1	24	杉森正敏(愛媛大学教授) 杉元宏行(愛媛大学准教授) 愛媛県林業研究センター職員
	木材流通論	1	12	檜崎達也(フォレストメディアワークス代表) 砂田和之(サイプレスナダヤ社長)
	木造建築概論	1	12	腰原幹雄(東京大学教授) 安井 昇(桜設計集団代表) 網野禎昭(法政大学教授)
	バイオマス・エネルギー論	1	12	吉岡拓如(東京大学准教授)

- * 講義は全て集中講義形式で行います。
- * 一部の講義に大学院生・大学生と一緒に受講します。
- * 一部の講義と実習は、久万高原キャンパスで行います。

Air Line



access



- ◎公共交通機関
JR予讃線「松山駅」→伊予鉄バス8番線(東野線)「農学部前」下車【所用時間:22分、運賃:250円】
- ◎自動車の場合
松山自動車道「松山IC」→国道33号線・松山市内方面→環状線・天山交差点(右折)→湯渡橋・手前(右折)→愛媛大学農学部